常磐毎日新聞

日刊

三月廿九日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅九厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二〇番

天氣豫報

今晩は北西の風 晴時々曇
明日は北西の風 晴

劍劇ごつこに夢中の幼兒が二階から轉落
腦膜炎を起して遂に死亡
▽……恐るべき映畫の影響

春の訪れと共に街頭に群れ遊ぶ子供達の姿が多くなり映畫の影響が『チャンバラゴッコ』と稱する危險な劍劇の眞似が流行し識者の眉をひそめさせてゐる折柄――平町南町賣藥商杉田松太郎さん長男宣保ちやん（七）は二、三日前知り合ひの同町田町某料亭二階でお友達數名と『寄らば斬るぞ！』と片目をつぶつて例の丹下左膳氣取りで『チャンバラ』をやつてゐるうち誤つて玩具の刀で額を突かれトタンに二階から階下に轉落したのが因で腦膜炎を起し散々苦しんだ揚句、昨二十八日夜遂に死亡した

三大炭礦競技部結合成る
八幡宮に長駈奉告祭を擧行

（既報）磐城入山古河の三大炭礦を中心に各陸上競技部員約八十名を打つて一丸となし三年後の東京オリムピックを目指し跳躍の豪華陣を展開せんとする『常磐炭礦陸上競技倶樂部』は元早大競技部長現入山炭礦人事係菅野輝夫氏等の奔走によつて愈々結成、この程盛大な發會式を擧行會長に芦川信正氏（入山）副會長に三澤發則（磐炭）廣田信幸（古河）兩氏が就任し漸次倶樂部の強化に努めることゝなつた、尙二十八日午後一時磐炭淺野會館前から平町飯野八幡神社境內迄一同マラソンを試み同二時神前に競技部結合の奉告祈願祭を行つた

恐喝罪起訴

石川郡遠田村大字下宿生れ目下內鄉村大字白水壽炭礦飯場靑木賀氏方佐藤武賀（一九）假名は過般強盜罪で送檢され櫻井檢事の取調べを受けてゐたが今二十九日恐喝罪で起訴された公判は近く平區で開廷される

笑つたのが癪で暗がりに誘出し
半死半生の目に合す

磐崎村上湯長谷長倉炭礦坑夫小野瀨敏（二六）野木四郎吉（二〇）の兩名は去る二十七日夜湯本町映畫常設館三函座で映畫見物中の湯本町三函魚行商鈴木正直（二四）君を一寸顔を貸して呉れと附近の暗がりに誘ひ出し兩名で散々暴行を働き全治一ヶ月の瀕死の重傷を負はせたこと平署で探知、檢擧した

喧嘩の原因は去月同町湯本座にレヴューが掛つた際被害者の鈴木が野木の顔を見て笑つたことから口論となり危く毆ぐり合にならんとして仲裁人がありことなく濟むんだのを遺恨にしたもの

若妻の不覺

湯本 [illegible]

クノさん（一六）は二女の玉惠（二）ちやんを二十八日午前一時頃添寢、誤つて乳房で壓迫窒死させたのを朝方になつて發見悲歎にくれてゐる

磐女の編入試驗

磐女は明三十日午前九時から二學年以上の編入學試驗を行ふ、志願者は十三名

子故の闇
卒業期を控へ登校を嫌がる
子供が不びんさに
不圖出來心の盜み

內鄉村綴字堀坂左官職奥山春松（四一）靴商山下良吉（六三）兩名は去る二十二日夜十一時頃湯本町入山炭礦倉庫から目方二十貫餘の旋風器チャンネル一個 [illegible] とした折柄密行中の平署布施刑事に逮捕され本田司法主任が取調べの結果左記の如き貧しい下層生活の哀話が判明係員を暗然とさせた―― [illegible] 人の家族を抱ひて貧しい乍ら樂しい我が家と懸命に働いてゐたが長男の小學六年生某（一二）が卒業を前に級友達がやる師恩會の會費二十錢を持つて行けぬため間もない卒業式を控へて學校を休んでゐるためその日の糧にもことかく貧乏暮しで都合つかず親心に思ひ餘つてこれも矢張り貧乏仲間の山下爺さんと相談盜みを働かんとしたものであると

女中希望
散々毆らる

平町四丁目五二飲食店草野屋こと佐野甚之助（三五）は二十四日夜九時頃自宅で同町胡摩澤一二五郁太郎妹中島トシ（一八）さんを毆打顔面その他に全治一週間の傷害を負はせたが原因はトシが女中に使つて呉れと佐野方に訪れ話がもつれて口論となつた揚句の始末

竣功期の延びた鎌田山貫通工事

神谷村地內堂山通稱鎌田山を開鑿して平町鎌田―神谷間を一直線に繋がんとする鎌田橋架替（延長百三十五米）並に道路附替工事（延長七百三十米）は六號國道改良工事中十一年度事業として昨春五月着工したが折柄常磐炭礦界の活況が反映して人夫募集難に陷入り且種々の難問題を生み出して豫定の進行を見す遂に三月の竣工豫定を八月に延期また今春に至つて鐵材其他一般材料の暴騰に遭ひ止むなく當初豫算の總工費十五萬圓を十七萬圓に增額するなど漸く六分通りの進捗を見るに至つた尙目下の出役人夫は約二百人で賃金は男一圓十錢女五十錢平均である

無免許周旋二件

赤井村赤井菊田瀧藏（四七）は去月中無免許で同村常住白石常吉長男正臣（一七）君外六名を靜岡縣福田町の撚糸工場へ前借金二百圓、乃至三百圓で夫々周旋、手數料を稼いでゐたこと發覺、平署で今二十九日檢擧した

×

好間村北好間飲食鈴木源太郎（五二）は昨年十二月村內の寺門ナカ娘ヨシ（一六）さん外五名を桐生市諏訪町撚糸工場木村高重方へ手數料名義で夫々二、三十圓宛取り無免許で周旋してゐたこと發覺これを平署へ

朝鮮人の不拂に手を燒く水道部
今後は前金でなければ絕對カギを渡さぬ

最近平町には續々朝鮮人が入り込んで來る、彼等の多くは古物商であるがその生活は恰も浮草を追ふ民の如く永くて半年、大抵は二三ヶ月で飄然と何處にか姿を消して終ふ共爲に非常な迷惑を罹るのは平町の水道部だ、水道の料金を支拂はぬばかりか共用栓のカギ迄持つて行く、古物商の鑑札の關係もあるので平署に轉住先を問合せると水道部 [illegible] つて居るので何處へ移つたのか皆目行方が解らず料金は徵收不能で欠損となる外はない、其處で昨日水道委員會を開いて對策を協議の結果今後新らたな朝鮮人の給水希望者に對しては前金でなければ斷じてカギを渡さぬ內規とし此の特別な取扱へに依つて欠損を未然に防止する事となつた

靑年學校生徒募集

平 [illegible] ら各職員總出で新入生の募集を開始することになつたが募集開始前早くも十四五名の申込み者があると

月曜是非

受驗準備の弊

いま試驗地獄の責苦が可憐な兒童の魂を痛々しくも血みどろにして居る。さいなまれる兒童の憂鬱な蒼白い顔は、見る者を暎かしめ大きな『平町の吐息』となつて、至る處に呪ひの聲が擧つて居る、縣下一の最難關とさるゝ中等學校の狹い門を叩ねばならぬ石城地方の兒童達はまこと災ひなる哉の感、切なるものがある。

されど、吾人は此の難關突破の難業苦業が所定の收容人員を決定する一つの手段として他に方便のない限り、また已むなしとして是れを肯定するの外はない。唯吾人がより以上痛切に、その弊の著しと見るは、此の關門を目標として施さるゝ極端な準備教育の激化である、此の爲めに蝕まるゝ兒童の身心の痛手は大人の想像以外に甚だしいものがある、然も急場の附け燒き刄的詰め込みの教育が兒童の將來を幸福にする程、智腦の發達を促すものではない。

近年當地方に於ける壯丁の体位低下が、小學校時代の受驗勉強の祟りに起因する點多しと見る者あるは當然である。

受驗勉強をやつてもやらなくても合格者の數には變りがないのである、人並以上に刻苦精勵して然も總決算に破れた幼き者の自己幻滅の打擊は、社會進出の第一歩に印せられ一汚點とて終生暗い影を投げ掛けはしないか思想の惡化も此處に胚胎する。

今や新學期の開始と共に郡下各小學校は、早くも受驗勉強の準備に取りかゝらうとして居る、而も學校と父兄とに狹擊されその締木にかゝつて骨身を削る兒童……此の一幅の地獄圖を縣は果して何んと見るか。

⊠

山神祭近く
各炭礦が準備

石城地方炭礦界春の豪華版、山神祭は愈々來月中旬頃から各方面で盛大に擧行されるが好間村古河鑛業所ではこの程役員會で協議の結果、來月十七、十八、十九の三日間と期日を決定、目下餘興その他催しに就きプランを練つてゐる

土木監督所長出福

板谷平土木監督所長は事務打合せの爲め二十九日出縣三十一日歸所の豫定

共稼から歸れば家の中からつぽ
家賃代に運んだ家主を窃盜で告訴

月見町日雇業松本長吉（三七）さん夫婦は去る四日以來湯本町地內藤原川改修工事で稼ぎ最近歸宅した處家財道具は勿論、米まで何一つ殘さず何者かに持つて行かれた始末に調べて見ると何んとこれは家主の高久村下高久本馬長之助さんが滯こつた家賃八ヶ月分二十四圓の代償に運んで終つたものと判明幾らなんでもひど過ぎるとかん／＼に憤慨して二十九日窃盜罪として平署に家主を相手取り告訴を提起した

難關突破
植田金成君
最初の稅關入り

植田町磐東銀行支配人金成金三氏長男金一郎君（磐中出）は今春福島高商を卒業、神戸稅關の採用試驗を受け九十八名の志望者中採用五名の難關を見事突破して合格、來月二日赴任することになつたが同校から神戸稅關入りは金成君が初めてゞある

辻强盜の片破れ
亂鬪の餘罪發覺

例の辻强盜の片はれ相馬郡中村町生れ當時住所不定、前科二犯廣川治平（二三）は平署で餘罪追究中のところ、同人は去る二十一日夜好間村三反田地內で通行人の同村館山榮三郎（二九）に喧嘩を吹きかけ [illegible] 夫々全治一週間の負傷を負つてゐたこと判明、二十七日平署で關係者を呼び出し取調べた

第四通學路

平町第四小學校敷地買收臨時委員會は三十日午前十時 [illegible] し協議する

武運長久の壯行會
けふの盛況

平町では同町出身〇〇方面入隊兵の武運長久の祈願祭を兼ねた壯行會は既報の如く今二十九日午前十時から縣社子鍬倉神社に於て町內各團体主腦部、各學校關係者等それに婦人連も多數參列して擧行、靑沼町長並に大嶺平靑年團長、藤井鄉軍分會長、山崎軍友會長、篠山第一校長等の祝辭あり、終つて同所で祝宴を開いた

飯野壯行會

飯野村森政一君外二名は近く〇〇方面へ入隊のため二十九日午前十時から小學校で壯行會を開かれた

雇人の橫領

內鄉村綴字一の坪杉山炭礦坑夫手塚孝寧（三二）は昨年十二月平町三丁目高倉蓄音器店に雇はれ中、湯本町佐藤直吉方から集金した現金十五圓を橫領した外數件の橫領發覺、二十八日平署で檢擧

花見茶屋
申込數四倍

花の松ヶ岡公園內賣店九件に對する申込は既報の如く日曜にもかゝはらず昨二十八日最後の受付を終了、申込數は三十五軒で來月一日抽籤で許可を決定する

松葉橋竣工
來月祝賀式

大浦村鹽木地內國道仁井田川に架る松葉橋の架替工事は同川改修の附帶事業として總工費二萬二百圓で [illegible] 以來順調に進捗愈々この程完成、地元大浦村では四月中旬盛大な竣工祝賀式を擧げることゝなつた同橋は幅員八米、延長四十八米の鐵筋コンクリート橋で四倉町に沿へ一偉觀を呈してゐる

金馬簾
五ケ消防へ

平署管下赤井、澤渡、箕輪、下小川、飯野五ケ村消防組は村內各種事業に奉仕した功に依り同署では縣へ金馬簾各一條づゝの下附方具申、決定すれば來月十九日の聯合消防檢閱に傳達式を擧行する

鰯漁最中
海中に轉落
漁夫か溺死

小名濱町下町田中權次郎氏所有漁船第二福惠丸漁夫相馬郡中村町生れ三浦吉郎（二六）は二十八日正午頃江名町沖合五浬の地點で鰯漁中誤つてワイヤー捲揚機にふれ海中に轉落溺死した

煙草の火
松林を燒く

江名町永崎字舟付地內同字綱田善之助所有松林から、去る二十六日午前十一時頃發火約二反歩を燒失正午鎭火した、原因は煙草吸殼

柔道の試合

磐中平商兩柔道部は聯合し來月十日磐中道場に日立山ノ手工場柔道部員を迎へ [illegible]

飯野靑年團

飯野靑年團總會は來月四日午前十時から同村小學校に開く、尙同在鄉軍人分會幹事會は午後一時から役場で開かれる

水高合格者

磐中から水戶高等學校へ廿餘名の志願者中左記四君が合格

△文甲皆川貞雄、新藤秀夫△理乙赤津一衞、鈴木洋三

平町人事

回 出生
△材木町三九矢內貞德氏五女貞子さん
△下川原一九鈴木末五郎氏三女さつ子さん
△南町七一石田直四氏長女誠子さん

回 婚姻
△白銀町一一鈴木文重氏（二八）夏井村藤間靑木ユキ子さん（二五）

回 死亡
△田町五秋元キノさん（四五）

少年工手

印刷業を志す年齡十五才以上の男女數名募集す

▼希望者は來談あれ▲

常磐毎日印刷株式會社
平町長橋町【電話六三〇番】

平職業紹介所報告

回 求人之部
△漁業雜夫 十七―三十才 迄給十二圓
△同 十七―四十才 迄給十四圓
△女中 十七―二十才 迄給五圓

回 求職之部
△事務員 三十八才 高卒

JOHK

今晩の部

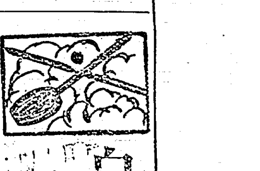
▼後六、〇〇 子供の時間 連續童話劇「海の子供たち」『無人島漂流記』
▼後六、二五 俚謠講座 廣島縣可部町有志 定宗數松
▼後七、三〇 講演「漂準語について」九大教授 文學士 佐久間鼎
▼後八、〇〇 ラヂオ小說「丹下氏邸」御橋公その他
▼後八、三五 琵琶「陶工柿右衞門」高野旭嵐
▼後九、〇〇 講談 次郎長外傳の內「仁吉の死」神田伯治
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 番組豫告

明日の部

▼前一〇、三〇 家庭講座 就結て婚に「結婚の意義」高島平三助
▼後〇、〇五 三曲「熊野」平井義奈勢他
▼後〇、三〇 國民歌謠 加藤千惠
▼後一、一〇 全國選拔中等野球 甲子園球場中繼
▼後二、〇〇 家庭講座「春の淸潔法にあたつて」柴谷邦子
▼後六、〇〇 童話劇「進級おめでたう」HKコドモ會
▼後六、二五 靑年の時間「日露戰爭時代の武人」小松八四郎
▼後七、三〇 講演「躍進工業と中小工業の地位」梶原仲治 各局ローカル講演「東北の工業と工業組合事業」堀口功「本縣工業の現狀と工業組合」酒井榮吉「縣下の工業組合に就て」田村浩
▼後八、〇〇 講演 松元木兆他 加賀谷かね、
▼後八、三〇 新內「繼娘昔八丈、鈴ヶ森の段」永澤若如月 橫尾高治 富士松加賀壽々
▼後八、五五「春來りなば」友田恭助他

定評有る大塚の
男女學生靴大賣出し
磐中 平商 磐女 指定……通學靴
小學生 通學靴 各種 自製堅牢優秀 金六圓から
つちや會社製品 月星 運動靴 耐久力他品の二培
月星 ゴム長靴
御用は 大塚
平・田町銀座通り 電話七十七番
店員募集 高等科卒業十三四才より 四五名募集 待遇法面談

カーテンとリノリーム の御用は！
大谷建材店
平町紺屋町 電話三六六番



（禁上映上演轉載）

白刃劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
（第商）布施長春 村瀨春映畫

――一二三――
用人の苦忠（六）

『三千石の五倍かな』

『二萬五千石』

『左樣』

『伊豆守殿は五千石以上の御加增に [illegible] して、[illegible] 下さりませうか』

但馬守成政は急に十郎左衞門の顏を見返して、カラ／＼といかにも可笑しさうに笑つた。

『成秀。天下の御政を除くに多寡が知れた一萬石や二萬石。伊豆守殿の眼から見たならば大體一人の家を救ふよりも輕いことぢやらう』

『なるほど。はゝゝゝ』

と、十郎左衞門も自分の小膝をたゝきさうに、すこし膝を [illegible] の聲が聞えた。これを [illegible] して木陰から見てゐたおすみは固睡を吞んでゐる。

源兵衞は稍離れた向ふの緣側にかしこまつて、平蜘蛛のやうに兩手をついてゐる。

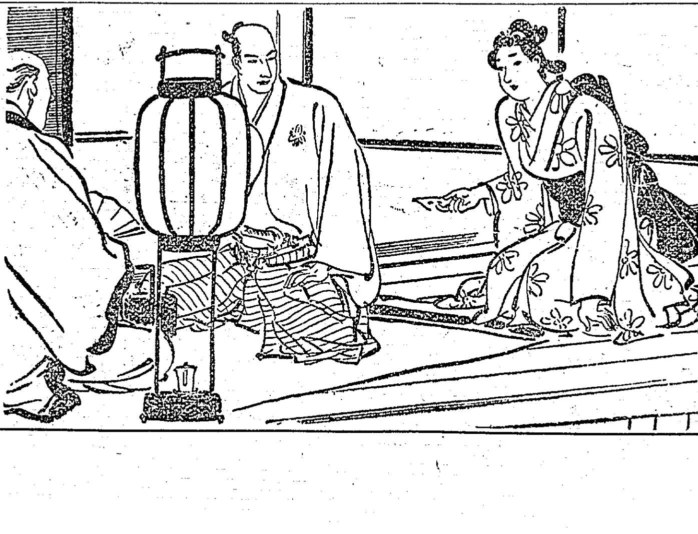
『御本家のお殿樣。よくこそ御來遊ばされましてございます』

但馬守成政の眼には、源兵衞の多年自分を捨てて水野家に盡し [illegible]

『源兵衞か。相變らずそちの忠勤には、手前たち感心いたし居るぞ』

『有難いお言葉を頂戴いたしまして、何とも御禮の申しやうがござりません』

『この後とも十郎左衞門を扶けてやつて與れ。のう源兵衞』



[illegible] らめて笑ひにまぎらはしたのであつた。

ちやうど、この時であつた。

お茶の代りに奉公に上つた十五六の侍女が恭しく十郎左衞門の傍へ寄つて來て、手にもつてゐる奧方からの [illegible] か [illegible] した紙片を差出したのであつた。

それを受取つた十郎左衞門はしづかに開いて、

『伯父上。用人の源兵衞。こゝへ參つても苦しうございますまいのう』

『もう內緒の用事も相濟んだから……』

『源兵衞に此方へ來るやうに傳へるといゝ』

侍女はうなづきながら會釋をして立去つた。庭の [illegible] にはサラサラと風が淡く梢を搖つて吹いてゐる、樹の間を透して星の影が明るく二人を射つてゐた。

『はい。恐れ入りましてござります』

と、もう源兵衞の [illegible] 堅い性質から、恐縮を滿眼にたゝへて平伏したのであつた。

十郎左衞門は再び侍女からの紙片を見直したが、ヂロリと源兵衞の方へ視線を投げかけた。

『源兵衞。急用といふのは何事かな』

『はい』

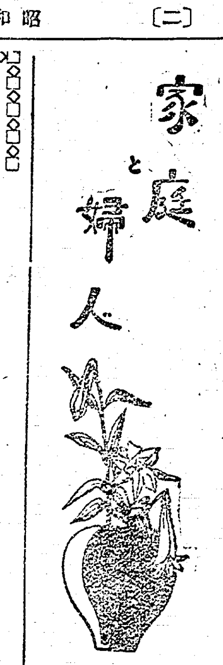
と、源兵衞は主人の顔を見ると云はふと默つてゐたことも、御殿まで用がかゝつても、但馬守成政も同席してゐるので、云ひ出しかねてもぢ／＼してゐる。

『源兵衞。手前が居つては話しにくいことでもあれば、もう手前は歸つても好いぞ』

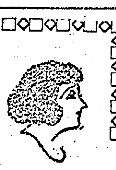
と、但馬守は氣をきかせた。

『いゝえ。恐れ入ります。別に御內分に願ふやうな用事ではご

家庭と婦人



眞劍な謎



深尾須磨子

「寄らば斬るぞ」

「何ぬかす、腰拔けめが」

「うぬ……さあ來い」

「合てんだ」

通りがゝりの荒物屋で買物をしてゐると、店の前では、三、四人の男の子供達が、新聞紙を兜にかぶり、手に手にオモチャの日本刀をふりまはして、怪しげなチャンバラに餘念がなかつた。

「これ〳〵、いゝ加減にしなさいよ。あぶないからね」

しきりにくりかへすおかみさんの言葉も、のぼせ切つた子供達には馬の耳に何とやらだ。

「毎日のやうにかうですからねやり切れませんわ」

おかみさんは苦笑と一緒につぶやいた。以下おかみさんと私との問答

「みんなこちらのお子さんですか？」

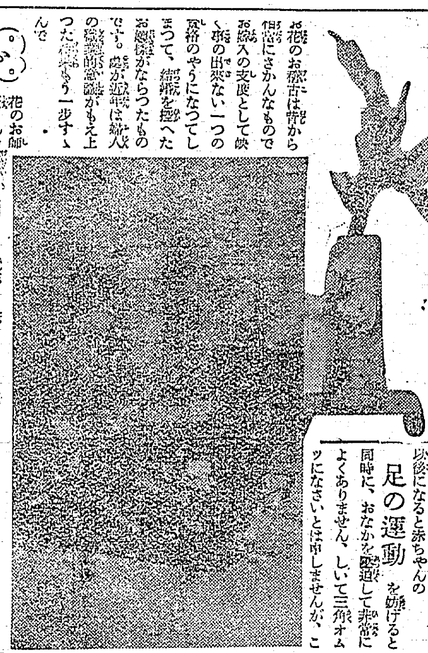
「いゝえ、うちでは男一人きりですわ。この間のやうなこわいことがあると、うつかり子供も出せないつて氣がしますわね」

「全くね」

微笑に答へながらも、いはゆる産兒制限の必要を、一切の啓蒙運動をよそに、こんなにも易々とおかみさんにのみこませたのが、例のサンガー夫人ならぬこの間のこわい出來事であつたといふことを考へて、私は何となく感慨無量であつた。しかも、おかみさんの述懷は、今や日本女性に對してあたへられてゐる、何より眞劍な謎ではあるまいか？

女學校は出たけれど結婚まで何を習ひませう

趣味實益を兼ねて職業化したお花のお稽古



お花のお稽古は昔から非常にさかんなもので、お嫁入の支度として缺く事の出來ない一つの資格のやうになつてしまつて、結婚を控へたお嬢様がならつたものです。處が近年は嫁入の準備的意識がもえ上つた傾向から一歩すゝんで

（お）花のお師匠さんで經濟的に獨立しようといふ方もかなり多くなつてゐます。それでお稽古する方の初の心がけとしてどの程度に習ふかといふ事をよくたしかめてかゝる事です

よくお友達も習ふからといふ一寸した好奇心にかられて二ケ月稽古してすぐあきて放つてしまふ方がありますが、それでは何にもなりません。習ふ方でも損ですし、教へる方でも張合が拔けてしまひます。一通り、春夏秋冬の花を活けられるやうになるには先づ半年位ですが、それではやつぱり不充分ですから一年位の見當と見れば大抵よろしいでせう

お花の師匠になると云ふ方も一年間ミッチリならつたらまづよいのですが

（更）にもう一年位自分で研究した方が安全かとおもひます。そして流儀にかぎらず、これで完成したといふ事はないのですから、常に研究心をもつていろ〳〵のお花を取り合はせて活けて見ることです

流派の流儀も色々あつて一つ一つかぞへれば四百位にわかれて居ますが、一般に最近では自然の形のものが歡迎されてゐるやうです

育兒讀本

無頓着過ぎる赤ん坊のおむつ

お母さん方の心得

赤ちゃんを育てる樂しみな中にも何んと云つても厄介なのはオムツでせう、しかし赤ちゃんの健康と教育の上に、又良い習慣を付ける上に、このオムツほど大切なものはないので、その用ひ方には充分な注意を拂つていたゞきたいと思ひます

まづこれまでの長方形のオムツ、あれは一巾の布を兩側から合せるやうに卷くものですから、生後二ケ月位まではいゝとしても、それ以後になると赤ちゃんの

足の運動を妨げると同時に、おなかを壓迫して非常によくありません、しいて三角オムツになさいとは申しませんが、これまでのものでも巾をずつとせまくして股の部分にだけ卷く樣にしていたゞきたいと思ひます、さうすると着物をよごすと云ふ心配が一般はオムツカバーを用ひます、そのためにはオムツカバーと云ふと、もうはひだしたりヨチ〳〵歩いたりする子供に主に使はれてゐる樣ですがそんな時分にはもうオムツなど使はないですむ樣に習慣つけねばなりません、日本では餘りオムツを長く使ひすぎます、おたん生には

勿論一年半も經つてもまだ使つてゐるなどはお母さんも少しはづかしいことです、二ケ月もしたら一時間をきめてやつてやるやうに、たゞし寢い間は室内に便器を置いてそれにさせるやうに、一日何回と云ふことは母乳と人工榮養により又赤ちゃんによつて違ひますが、それはオムツのよごれるのを見てもわかる筈です

やがてこの事は無理しない正しい生活の**習慣を付ける第一歩**なのです、オムツカバーもゴム引のものは、冬は冷やし夏はむらしますから、乏は健康の爲めにも新陳代謝をさまたげるものですから、之は病氣の時以外は避けていたゞきたいのです

冬はネル、毛織物、綿ネルの類のもの、夏はメリンス、木綿の編みのものなどがよいでせう、赤ちやんには、おむつは衣類の一部なのですから季節に應じて加減します、次にはお洗濯は理想的にはよごれたのを外したら、その度にすぐ洗ふのですが、さういかないなら、水をいれたバケツを一つ用意して置いて水びたしにして置くのです、そして一日のをまとめて洗ひます

（家）（庭）（メ）（モ）

被服の光のとり方 絹物や洋服の襟や背や膝などがすれてピカ〳〵光つてゐるのは、餘り見よくないものですが、水とアムモニアを等分にまぜた液をその部分に吹きつけておいてからその上に白布をのせて上からアイロンをかけるとすつかり直ります

結婚常識讀本

どんな夫婦が理想的か

生物學的にちやんときまつた法則はない。似たもの夫婦と、こえた男にはこえた女が理想といつても、やせた男とこえた女でも仲よく和合してゐる夫婦もある。たとへばピアルソンといふ學者は夫婦について眼の紅彩に同じものが多いか、不同のものが多いかを七百七十四組の夫婦で調査し同じものが多いといふ結論に達した。又たある學者は同じ見地から夫婦について身長、體重、肺活量、毛髮の色、手足の大きさ、紅彩等々を調査して似てゐる夫婦も多いが、似てゐない夫婦も多いといふ結論に到達した。これ程ばかげた研究はない。自由な撰擇をゆるしても、夫婦間に嚴格的に數學的法則を發見するのはむづかしからう。むしろ歌劇カルメンの「戀は浮浪の子よ、法則なんど知らないわよ」といふ歌の方がかういふ學者より率直に戀愛を暗示してゐる

勿論自由撰擇の場合男女間に好き嫌ひが生ずる。顏や姿に對する好ききらひ等々が何によつて決定されるかはたしかに科學的に研究すべき興味ある問題である。撰擇において一見偶然のやうで、この偶然のうちに因果の長い連鎖の絲があるはずであるが、今日の科學ではまつたく不明である

この問題は單に個體心理學の問題でなく、むしろ歷史科學的な問題である。女性美の標準は社會の生産關係によつて非常に變遷するからである。結局撰擇の中心は健康で明朗なのが一番理想であり、男女とも健康な働き手が唯一の身上となる時代がかならず來るはずである

破れた雨傘

この吸呼で繕ひませう

藥品は極めて簡單なもんです

雨傘がやぶれた時に皆さまはどうして繕ぜんして居られますか、繕ひ目など各色にそめだしたのりつきのテープを貼つてゐますが、これは使ひのこりをそのまゝしまつておくと粘氣がぬけて、折角の品が全然すてなければならないやうになる事があります、こんな市井の一時的の品は縁日なればこそ賣れるのであつて、堂々たる店舗では信用に關係しますのであつかつてないのが普通です、つぎに家庭で手輕に出來る雨傘の繕ぜん法をお話しませう

「一　體」　雨傘には、丈夫な日本紙がもつぱら使はれてゐるやうであります、日本紙はどこの家庭にもありませう、障子紙の使ひのこりだとか、子供の習字用紙（改良半紙）その他到來品をつゝんだ紙など、ごく手近な所にいくらでもありませう、それらの紙片を破れ目をふさぐ程度に適當の大きさにハサミできりとり、障子の破れ目を張るのと同じやうにノリで張りつけます。そのまゝで防水油をぬると、はぎ足した部分だけが特に目立ちますから、學用品の繪の具をもちだして、傘と同じ色のを一度塗り、その上へに防水油をぬるとはつた所が目立つやうなこともなく、體裁もよくなります

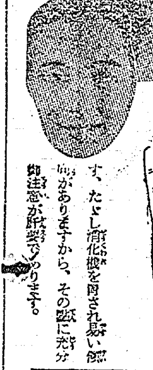
「さ　て」　防水油ですが、これはアマニ油（亞麻仁油）を藥局でもとめます、十錢分もあれば雨傘全部にぬるだけの量はありませう、保存をしておけば何年でも保存にたへます、その外種油かオレブ油、とう油などが同量あるとよろしいのですが、なければ一種でも結構間に合ひます、アマニ油と等量の右の一種の油を混合して古鑵か空びんにいれて加熱しますと、水分が蒸發してしまつて大變ねばり氣のある油になつて來ますから、これを筆かハケで先の張つた和紙の兩面にぬればよろしいのです、一體この種の油はかわかしますと、空氣中の酸素と化合して硬化する特殊の性質がありますので、傘紙や、荷造用の紙、雨着用の紙、荷札紙等をつくるのに應用されるのでありますが、たゞ加熱の時間は一時間半くらゐが適當でせう、無論強熱はさけなければなりません

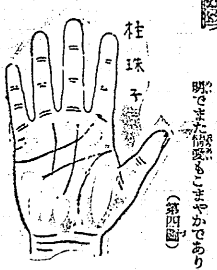
「尙　水」　繪の具がない場合は、クレオンを利用してもいゝのですがこれを使ふときは防水油をぬつたあとにした方がよろしい、油のあつい中ぬられますからその熱で蝋が幾分とけてしみこむからです

手相で判る

戀愛と結婚の判斷

精神的な戀愛をする手相





（第四圖）

桂珠子さん（第四圖）のも感情線、頭腦線、何れも長く、まことに聰明でまた情愛もこまやかでありますす。たゞし消化機を冒され易い傾向がありますから、その點に充分御注意が肝要であります。

今は旅行季節

汽車の中でのお化粧法

〇…春陽氣にむかふと共にともなつて旅行シーズンがひらけて來るわけですが、御婦人にとつて汽車の中でのよごれはまた一苦勞のたねでありませう、さて、汽車の中でのお化粧の方法は、まづ乳液を脱脂綿にしませて一通りのよごれをおとし、それから化粧水を丁寧にくりかへしてぬり、そのあとへ粉白粉をしづかに肌をおさへるやうにしてつけ、浮いた粉は脱脂綿できれいにふきとります

〇…もうすこし濃いお化粧には化粧水の代りにヴァニシングクリームをお用ひになればよろしいのですが、一體に濃いお化粧は手間がかゝるばかりでなく、目的地に着いても温泉地などでは、水質のため、練白粉や水白粉は肌におちつきにくい場合が多くありますから旅行中には粉白粉が一番有效です

芋類の煮方

イモ類は總て弱い火で短時間に煮上げ、あついうちに食るのが一番味もおいしく、消化もよく、榮養も充分です、又冷えてしまふと味もぐつと落ちる上に消化が大變惡くなります、それから充分成熟しないイモは澱粉の質がよくありませんからイモ類を買ふ時は若いものを避ける

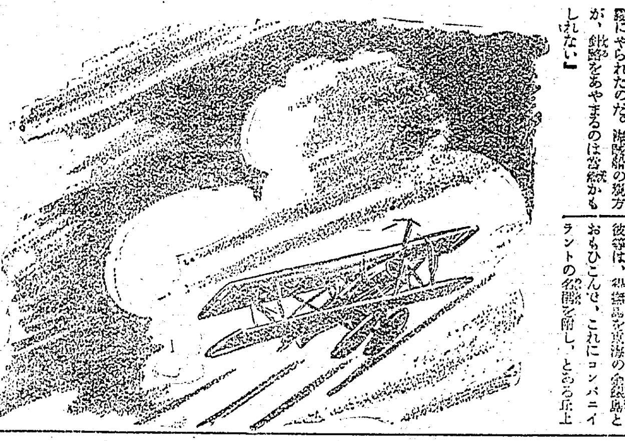
護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀨春眼（畫）

……說一二四……

海上の芝居（九）



鷲飯原とボルトメンを乘せた、飛行機は、どんな風にまちがへたか、いくら行つても色丹島を發見することができなかつた。

そのうちに、飛行機の燃料が盡きてきて、海いちめんを濃霧がとざしてしまつた。

西も東も、てんでわからない。

「ボルトメン君、困つたなア」

さすがの鷲飯原も、思はず溜息をもらした。

「まつたく、君に相濟まん」

ボルトメンも、打萎れてゐる。

「それに、こんな深い霧になつては、目標がとれなくて弱つたなア、どうしよう」

「リンドバークだつて、北海の濃霧にやられたのだ。海洋飛行の熟練家が、針路をあやまるのは當然かもしれない」

さういつて、ボルトメンは、みづからを慰める。

「しかたがないから、何處へでもやるさ。偶然、北海の寶島でも發見するといふことになると面白いぜ」

「まつたく……北海に寶島があるといふのは、むかしからの評判だからなア」

ボルトメンは合槌を打つ。

「君は、コンパニイラントといふ島を知つてゐるか」

鷲飯原は、いふと、ボルトメンは首を振つた。

「知らないね。歐洲の方の北海ぢやないのかい」

「いや、千島の一島なのだ。由來を聞かさうか。……西暦一千七百八十五年にオランダで發行されたニコラス・ウヰツチンといふ人の著いた『北及東の韃靼』といふ書物の中に、このコンパニイラントといふ島の圖が挿入されてある。コンパニイラントといふのは、つまり千島の得撫島のことなのさ」

「ほう、得撫島のことを、どうしてコンパニイラントとよんだのだらう」

「いつの時代でも、黄金の魔力に動かされて、西洋人の東洋探險熱が行はれた。十三世紀末から十七世紀の初頭には、そんな探險が盛んで、日本の近海にあるといふ、東洋の人の想像した金銀島への探險隊が送られたものだ」

「なるほど……」

そんな話を飛行上には、發動機の音は消せないから、相手の耳に聞き取てゐる。

「西暦一千六百四十三年、といふとわが寛永二十年だね。オランダから二艘の探險船が、わが東海にむけられた。フリースといふ人が隊長となつて、バタビヤを出帆しはる〴〵日本の東海岸にやつてきて、さらに北上し、六月に北海道の襟裳岬をまはり、根室海峽に入りとう〳〵今の得撫島を發見した。彼等は、得撫島を東海の金銀島とおもひこんで、これにコンパニイラントの名稱を附し、とある丘上に十字架を建て、オランダ東インド會社の紋章VOCと年號を刻み記念としたといふのだよ」

「なるほど、で、得撫島は、金銀島であつたわけかね」

「いや、今もむかしも變りなく、得撫島は黄金の島ではなかつた。そこで一行は、それから樺太に航し、ふたゝび千島に來て、國後島をはじめ五六の島を探檢したが、もとより金銀島などは實在の島ではないのだから、とう〳〵北海の探檢をあきらめて本國へ歸航したといふはなしだ」

「ぢや、全く徒勞だつたわけだ」

「しかし、この探檢の結果は、西洋の地理學界に、大きな影響をあたへ、コンパニイラントの名は、當年の地圖を不朽に止むる記念となつたわけだ」

「なるほど、すると、千島も早くから西洋に知られてゐたのだなア」

「さうだよ。そして、われ〳〵もいま、その金銀島を飛行機で探してゐるとみればみる事ができる」

まつたく寂寞な冒險者たちだ。

いつのまにか、偵察飛行機は、水上におりて、波のまに〳〵ゆられてゐた。

三月 雛人形賣出し
桃の節句が近づきました
可愛お嬢チャン方
のお祝に……
是非!!! フクダヤ
の人形を！
本年の特製品・セット物
古付人形・新商人形等々
あらゆる種類を集めました
何卒御覧下さい
フクダヤ祝品部
平町二丁目

外科内臓外科
X光線科　院長　安齋徹
―新設―
産婦人科　醫學士　黒澤廣
▽入院隨意△
平町田町
安齋醫院
電話四七五番

新學期學生募集
磐城女子洋裁學院
卓越せるデザイン教授
ミシン使用無料
材料貸與
新學期開始……四月五日
學則送呈（郵劵二錢封入）
平二丁目二番地

メートル御使用家の福音
二割明るく二割お徳な
新マツダランプを
お奬め致します！
目下應募券付賣出し中洩れなく粗景呈上
毎月一日十五日マツダランプ割引サービスデー
當日はマツダ眞空管も割引致します
日東商會
電話四二八番

かまぼこ
[illegible]
[illegible]
製造
…お惣菜用・さつま揚・吉原揚…
平町一丁目　電話一四一番

▽生徒募集
（學則入要ノ方ハ本校ニ申込マレタシ）
第一學年　壹百名
第二學年　若干名
受驗講座　五十名
新學期　四月五日
出願期日　四月五日
特設受驗講座（各種受驗ノ希望者ノ爲ニ）
磐城青年學校
平町城山

春物は
是非！
當店から
（在庫豊富）
玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

美味！
芳醇！
ひたら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

Refinetex
リファインテックス
春の新裝洋服地は
斷然あなたを引立たせる新柄品柄絕對豊富のリファインテックスで
國基レインコート
リファインテックス　特約店
大崎屋洋服店
電96平銀座

通學服には！
小國民の体位向上は
國策が生んだ
強くて安い
愛國健康服
特約店　三井呉服店
雜貨部
電話38・284番

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
内科小兒科
耳鼻咽喉科
外科花柳病科
レントゲン科
看護婦さん募集
平町田町
電話五一三番

三井タクシー
平二　電話五八六番

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平町紺屋町
電話三六六番

花柳病科　外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際　電話三〇九

吉田眼科醫院
平町紺屋町
電話六八番

鈴木醫院
平町田町
電話五八番

▽是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券質、物一般
三井質店
平四
電話六〇六番

産科婦人科專門
平町南町五二
根本醫院
根本莊次郎
根本貞雄
（手術室完備）
（入院隨時）
電話三十四番